

第1号

与謝野晶子通信

潮の遠鳴り



文化学院蔵

晶子から晶子へ

「与謝野晶子通信」の発刊を祝して――

与謝野晶子倶楽部会長 太田 登



与謝野晶子倶楽部では、「会員相互の交流と情報発信」として、機関誌を

定期的に発行していますが、限られた誌面や時期によっては情報の鮮度や量に不足を生じることがあります。

このたび、晶子にかかわる情報を会員相互で共有し、交換しあえる広場をめざし、機関誌よりも親しみやすくわかりやすい情報誌を発刊することにしました。題して「潮の遠鳴り」、晶子からの多彩なメッセージ(潮の遠鳴り)に耳を澄まし、晶子との対話の場を広げたいという思いがこめられています。

皆さまに親しまれ愛されつつ「与謝野晶子通信」であることを心から願いつつ、その門出を皆さまとともに祝いたいと思います。

与謝野晶子倶楽部紹介

与謝野晶子倶楽部は全国の晶子研究者や歌人、愛好者などで、平成9年に堺市で創設されました。堺に生まれた与謝野晶子の業績、生き方について広く市内外に発信し、さかい利晶の杜を中心に、晶子フォーラムや晶子入門講座、短歌セミナーなど分かりやすい講座を開催していますので、ぜひお気軽にご参加ください。

「こころの声を

建築家 與謝野 久



この度は「与謝野晶子通信」第一号の創刊を迎えられ、こころよりお祝い申し上げます。

また、貴倶楽部におかれては、長年にわたり祖母晶子・祖父寛の文学活動の軌跡について心温まる顕彰事業を展開し続けて頂いており、その篤きご厚意に対し深く感謝申し上げます。

平成二十七年春建立の文学碑(4頁のさかい利晶の杜・文学碑)に刻まれた晶子と寛の碑文対話のなかには、「叙情」と「独創」に対する二人の想いの響き合いが、厳しくもほほえましく感じ取られます。また、生々流転していく自然と社会状況への観照のなかで、「いのち」と「こころ」の奥深さを、真に歌で紡ぐことの大切さも切々と開明的に我々に諭し伝える言葉とも感じとれます。一方、今の世情の多難な展開に想うことは、幅広い科学知による柔らかく協創的な思考と「こころのいとなみ」を支える文化力の深耕との懐深い融和の願い。この度の情報誌が、世人の叙情と独創から成る「こころの声」を多彩に紡ぐ場となるように切に祈っております。

晶子とスペイン風邪

さかい利晶の杜 学芸員 高田晃成

与謝野晶子は数多くの評論文を書きましたが、その中には世界中で大流行し、日本国内でも50万人近い死者を出したスペイン風邪について記述したものもあります。

大正7(1918)年11月に発表された「感冒の床から」(横浜貿易新報、現在の神奈川新聞)では、冒頭で凄まじいスペイン風邪の伝染性と晶子の家族からも感染者が出たことに触れ、「政府はなぜ逸早くこの危険を防止する為に、大呉服店、学校、興行物、大工場、大展覽會等、多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じなかつたのでせうか」と感染症に対する政府の対応を批判しています。この文章が書かれた時期は感染者数は多かつたですが死者数はさほど多くない「前流行」時期でした。

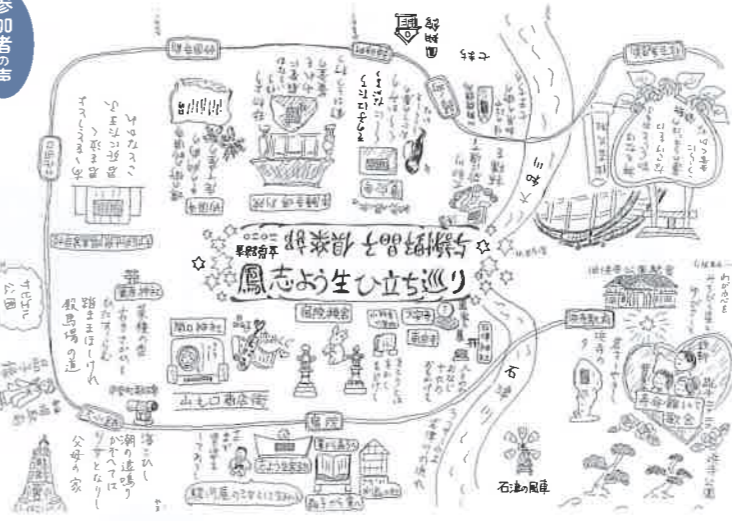
一方で感染後の致死率が上昇した「後流行」のさなかの大正9(1920)年1月に「死の恐怖」(横浜貿易新報)が発表されました。「感冒の床から」では社会の情勢や政府の批判などについて語られましたが、「死の恐怖」では感染症の猛威の中、死の恐怖を意識せずにはいられないと記述し、「死は大いなる疑問です。その前では一切は空になります」と自らの死生観を述べています。「人事を尽す」ことが人生の目的であり、感染症流行の中でも予防注射など手を尽くすべきであり、世間に多数いる予防を行わない人達について自己の生命を軽んじてはならないと主張しています。

こういった評論作品からも、生きるために手を尽そうとする晶子の強い意志を読み取ることができます。それは新型コロナウイルスの脅威に直面している百年後の私達にも示唆を与えてくれる考えです。

文学踏査

令和2年10月7日(水)

晶子が幼少期を過ごした堺の街をめぐる、晶子の足跡を探る旅です。倶楽部会員による解説、手作りのしおりと、観光マップは当倶楽部ならではの楽しみです。



堺駅電車沿線の晶子ゆかりの地と歌碑などを描いたマップです。折り畳んでポケットサイズにでき、見やすい構成になるよう工夫しました。(制作者 萩原久美子)

参加者の声

ちんちん電車

三部 知子

私は大阪生まれの大阪育ちのれっきとした大阪のおばちゃんです。小さい時からちんちん電車にはよつこゆり乗ってました。結婚してからはずっと堺で住んでいました。地下鉄が来る迄はちんちん電車に乗って実家に帰っていました。今こそ阪堺線という格好のよい名前がついていますが、ずいぶんちんちん電車と通っていました。そのなつかしい電車で堺をめぐるというテーマでしたので、すぐに申し込みました。父母は堺の神明町の生まれです。よく今生きていたら喜んでアレコレ説明してくれたらと思うと歩きながら涙がにじみました。白根忌5月29日に神明町の覚徳寺でたまたま着物を着ていた私がお茶をすすようにならぬで、毎年お茶を飲ませていた私です。たんなる偶然としか思えないのですが、もしかしら母が呼んでくれた思いながら、ちんちん電車に乗ったりおたりして堺をめぐるました。楽しかったです。

晶子入門講座 全3回

晶子の作品や生き方を学ぶ「晶子入門講座(全3回)」9月は古澤夕起子講師、10月は瀧本和成講師を迎え開催しました。残念ながら12月の檀原みずす講師の講座は、コロナ禍の為中止となりました。

第2回晶子入門講座 講師：瀧本 和成
テーマ：与謝野晶子の随筆―その特性と魅力

日程：令和2年10月25日(日) 会場：さかい利晶の杜

参加者の声

晶子の随筆「西瓜灯籠」を読んで、「美しい」というキーワードをひき出し、「美しい」から「老い」への過程を問題形式で講座を進める興味深いものでした。他に「美しい贈物」という一編では、贈物が理屈に合うかどうかの詮議は第二義だということに愛の表現があつてこそ「美しい」と晶子目の覚めるような瀧本先生の切り口の晶子講座でした。改めて「文字を読む」ことの意味を考えることができました。 吉田 敦子

短歌を楽しむセミナー

短歌づくりを通して晶子の魅力に触れる、小西美根子講師による9月・12月全4回連続講座です。 会場：さかい利晶の杜

参加者の声

堺に居を構えて五十年、時間ができたら晶子をつくり学びたいと思つておりました。そんな折このセミナーを目にし、これぞ一石二鳥の講座と思ひ、すぐ「晶子倶楽部」に入会し、申し込みました。 オリエンテーションの中で小西先生の、短歌と晶子に対する熱意と姿勢が伝わってきました。歌はその人のものだからと、又、折々の自分の心境を歌にしておけば自分史にもなり得ると、その一言一言が納得です。今まで日記をつけようと思ひながら一度も続いた事がなかった反省を形に！と思います。 一石二鳥が三・四・五鳥となり思ひも詠める事の素晴らしさを遅ればせながら感じています。このような機会を頂けた事に感謝しております。 永澤 信子

さかい与謝野晶子 青春の短歌大会

与謝野晶子倶楽部運営委員 小西 美根子

晶子の短歌の魅力を顕彰し、若い人たちにも短歌の伝統を継承してもらいたいという思いから、堺歌人クラブとの共催で発足した「さかい与謝野晶子青春の短歌大会」。第1回にして、全国の高校生から1万507首もの作品が寄せられ、非常に喜ばしいことでした。 晶子生誕祭の一環として、令和2年12月13日に表彰式が予定されていましたが、大阪府のコロナ感染者拡大により、残念ながら中止を余儀なくされました。改めて次年度の大会が無事開催されるよう期待しています。 入賞者の作品を紹介します。

選者(歌人・宮中歌会始選者) 今野 寿美氏

大賞

夏休み貴女に会えて嬉しいと貴方が言うから温度が上がる 神戸市立神港橋高等学校 神谷 玲空

与謝野晶子倶楽部賞

やめてくれ優しくしないで笑わないでそれ以上は好きになるから 大阪府立枚方なぎさ高等学校 光安 蘭丸

堺歌人クラブ賞

白浜に裸足で今を刻むとき言葉にならない日記を残す 福岡女学院高等学校(福岡) 辻 愛生

さかい利晶の杜賞

甘酒が冬と真逆の季節と知り江戸の食へとタイムスリップ 学習院女子高等科(東京) 内海 響

堺市長賞

昨日今日話せたんなら帰納法あの子と会話明後日もだろ? 鹿児島第一高等学校(鹿児島) 竹下 玲司

堺市教育長賞

夏だから極端なことしてみたい地獄のように煮込んだカレー! 学習院女子高等科(東京) 梅津 見帆

大阪府知事賞

新しい一ページ目の一文字目不思議となぜか丁寧を書く 大阪府立金岡高等学校 荒川 裕絵

大阪府立泉陽高等学校賞

一日がこんなに早く過ぎるのは君のせいだと気づく休日 星美学園高等学校(東京) 江南 凜

産経新聞社賞

野球部は拝所の前を一礼し初夏の御陵を駆け抜けていく 大阪府立国丘高等学校 船田 愛子

選者賞

もう二度と顔も見たくはないけれど笑顔で話せる私の勝利 関西大高等学校(大阪) 志村 凜和

見えぬ敵マスクをつけて見えぬ顔どちらが敵か見分ける心

指さして憚だと笑う君はいつその儚さに気づくのだろう 岡山学芸館高等学校(岡山) 柴垣 有我

最優秀校賞

学習院女子高等科(東京) 大川 愛莉

3首入賞、9首入選を果した、学習院女子高等科(東京)が最優秀校賞に選ばれました

3首入賞、9首入選を果した、学習院女子高等科(東京)が最優秀校賞に選ばれました

機関誌「与謝野晶子の世界」 20号記念特集号の紹介(令和2年10月発行)



特集として、機関誌第1号(45号(通巻)の「晶子・鉄幹(寛)に関する『研究・論考』」テーマ総まとめ、総論として、「通巻45号の歩み」、及び「20号の歩みと展望」(与謝野晶子倶楽部・太田登会長)を掲載しました。今後の研究・顕彰に資するための企画です。「特別企画」・『鉄幹晶子全集』未収録短歌162首は『落花抄』研究の一環、『晶子探案』『鉄幹探案』は既存の論考・記録等です。貴重な資料の収集と新分野での取り組みです。



編集部 河野 文男

さかい利晶の杜ニュース

与謝野晶子記念館 企画展紹介

『明星』創刊二〇年・『冬柏』創刊九〇年記念企画展 『冬柏』―『明星』の精神を貫いた理想郷―

『冬柏』は、晶子と寛を中心とした新詩社同人の「表現の場」として、昭和五年(一九三〇)から、二人の没後弟子たちを引き継がれ、昭和二十七年(一九五二)まで刊行されました。

本展では、『冬柏』がどのような雑誌かを明らかにし、その魅力を感じていただくものでした。

開催にあたり、熊本県球磨郡多良木町の弟子、宮元尚(みやもと ひさし)が所蔵していた貴重な『冬柏』一八八冊を、



ご親族の特別のご配慮により借用させていただきました。充実した内容の企画展となりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大だけでなく、七月には、熊本県が大変な豪雨災害に見舞われました。特に、昭和七年(一九三二)与謝野夫妻が訪れた人吉市の球磨川が大氾濫し、夫妻が泊まった鍋屋旅館も大きな被害を受け、現在もまだ復旧途上の状況が続いております。本展を開催することで、晶子が訪れた人吉の美しい風景を歌に詠んだ景色に思いを寄せ、被災地に思いを寄せていただく機会となりました。

『与謝野晶子「新訳源氏物語」桐壺の巻草稿調査』について

与謝野晶子記念館では、与謝野晶子倶楽部と館蔵品研究を中心とした共同調査研究を行っています。令和二年三月には与謝野晶子「新訳源氏物語」桐壺の巻草稿二七枚を翻刻し、その成果を調査報告書として公表することができました。令和三年度も新たな成果を公表するべく研究を重ねています。ご期待ください。(矢内 一磨)

さかい利晶の杜イベント紹介

さかい利晶の杜では、千利休茶の湯館と与謝野晶子記念館などでの展示に加え、地域の賑わいづくりを目的に「SAKAIマルシェ」を開催しています。堺市内のお店や団体を中心に食べ物や雑貨のブース出店や工作等の体験ワークショップを実施し、たくさんの方に堺の魅力を感じていただく場を提供しております。



▲SAKAIマルシェは、冬季(1月・2月)を除く毎月1回開催しています。

「#堺インスタ短歌」募集中!!

歌人・与謝野晶子生誕の地・堺市にある「さかい利晶の杜」で、自分が撮ったイメージ写真に短歌を添えた「堺インスタ短歌」を募集しています。貴方の思いのこもった歌をぜひご投稿下さい。投稿短歌には必ず「#堺インスタ短歌」のハッシュタグをつけて下さい。詳しくは、(公社)堺観光コンベンション協会(さかい利晶の杜指定管理者) 担当:本條 竹田 宮本まで。 TEL/072-233-6601(午後6時迄) FAX/072-233-5258 http://www.sakai-rishonomori.com

晶子フォーラム2021のお知らせ

◆『みだれ髪』刊行120年 晶子フォーラム2021

日程:令和3年5月29日(土)

会場:さかい利晶の杜

1. 演奏「晶子の歌」 出演:未定
2. 講演『みだれ髪』刊行120年をテーマとする講演
講師:田口道昭氏

※晶子フォーラム関連イベント(会場:さかい利晶の杜またはその周辺)

- ①さかい利晶の杜企画展
会期:令和3年5月15日(土)~6月13日(日)
- ②与謝野晶子リーディング
《おさなきころの...》私の生い立ちより
日程:令和3年5月22日(土)~23日(日) 予定
- ③文学踏査(さかい利晶の杜学芸員の企画展示解説+堺市内文学碑巡り)
日程:令和3年5月30日(日)
- ④まち歩き演劇 忘れじの朝
日程:令和3年5月30日(日) 予定
- ⑤ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」
会期:未定

◆その他行事予定

- ・「晶子入門講座」「短歌を楽しむセミナー(4回連続講座)」
令和3年9月から12月にかけて開催
- ・堺周辺一日文学踏査:令和3年秋に開催
- ・第2回さかい与謝野晶子青春の短歌大会:令和3年6月募集開始
詳しくは、4月以降に「与謝野晶子倶楽部」または「さかい利晶の杜」のホームページをご覧ください。

各部会からの活動報告とお知らせ

企画・普及部会

松永 直子

令和2年度は新宮方面への一泊文学踏査を企画していましたが、コロナ禍のため提案しませんでした。令和4年度以降に実現させたいと考えています。また、今年度の文学踏査が好評でしたので、少しアレンジしたものを試みたいとも考えています。ご意見ご希望をお寄せください。



組織拡充部会

城本 多鶴子

- ・令和2年2月5日に組織拡充部会を開催しました。
- ・晶子の母校、大阪府立泉陽高等学校同窓会会員を対象に倶楽部会員拡充活動を行いたいと考えています。事前に同窓会会長に趣旨説明を行う予定で進めていましたが、コロナ禍により活動を中止しています。
- ・鹿児島在住の部会員から、当地で晶子の歌を通じ晶子顕彰や会員拡充活動実施の報告がありました。(機関誌「与謝野晶子の世界」第20号P68~69「北から南」に記載)

調査研究部会より

太田 登

堺市所蔵の与謝野寛・晶子関係資料を堺市博物館と与謝野晶子倶楽部が共同で調査研究する実質的作業が平成30年度(2018)からはじまり、令和2年(2020)3月に『与謝野晶子「新新訳源氏物語」桐壺の巻草稿調査報告』を出版することができました。さかい利晶の杜の企画展にも協力しています。

編集部会報告

河野 文男

与謝野晶子・鉄幹(寛)の両輪を軸として、二人の築いた巨大な学問芸術の山脈を一歩ずつたどる編集を目指しています。その地歩となる作品(歌文)そのものに触れる企画や、作品研究、実作短歌の拡充なども図ります。百年先の歌詠みを育てる夢もあります。短歌のほか、どのような分野でも、論考・資料等お寄せ下さい。

さかい利晶の杜

運営調整会議 小西 美根子

関係各所と事業の情報共有や調整を行い、効果的に実施できるよう連携を深めています。今年度初開催の「さかい与謝野晶子青春の短歌大会」はPR協力のお願いと募集結果の報告を行いました。



倶楽部からのお知らせ

投稿募集! 「あなたの晶子物語」を教えてください。

夫の寛と共に全国を旅した晶子。晶子が立ち寄った場所に残る晶子ゆかりのお話を聞かせてください。エピソードとともに、歌碑、晶子さくらなどの写真、自作の短歌などもお待ちしております。来年発行予定の、与謝野晶子通信第2号でご紹介させていただきます。

今号は、晶子の生家跡近くの「さかい利晶の杜」内に建つ「与謝野晶子・寛文学碑」を紹介いたします。1ページ目の與謝野久氏の寄稿文と合わせてお読みください。



▲さかい利晶の杜西側入り口に建つ「与謝野晶子・寛文学碑」。碑文には互いの尊敬と愛と信頼の絆が刻まれています。

- ・投稿していただいた方に、抽選で晶子グッズをプレゼントします。
- ・晶子グッズ、関連書籍の販売、倶楽部入会のご案内
一筆箋などの晶子グッズ、機関誌、歌碑巡りなどの書籍の販売をしております。
商品詳細はホームページをご覧ください。
倶楽部ご入会につきましては、事務局までお問合せください。



▲文学碑の横の晶子さくら(平成30年3月植樹)

編集後記

与謝野晶子通信第1号発行にあたりご尽力くださいました皆様へこころより感謝申し上げます。誌面の中の、晶子が紡いだ言葉に宿る力強いメッセージを、幅広い世代の皆様へ読んでいただけることを願っております。

問合せ先 与謝野晶子倶楽部事務局 〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3番1号堺市文化部文化課内
TEL:072-228-7143 FAX:072-228-8174 MAIL:info@yosanoakiko-club.com HP:http://www.yosanoakiko-club.com

与謝野晶子通信 第1号 編集・発行:与謝野晶子倶楽部 運営委員会

